

マンガでわかる！国土管理

～カンタとリコの訪問記

たなべ

和歌山県田辺市編



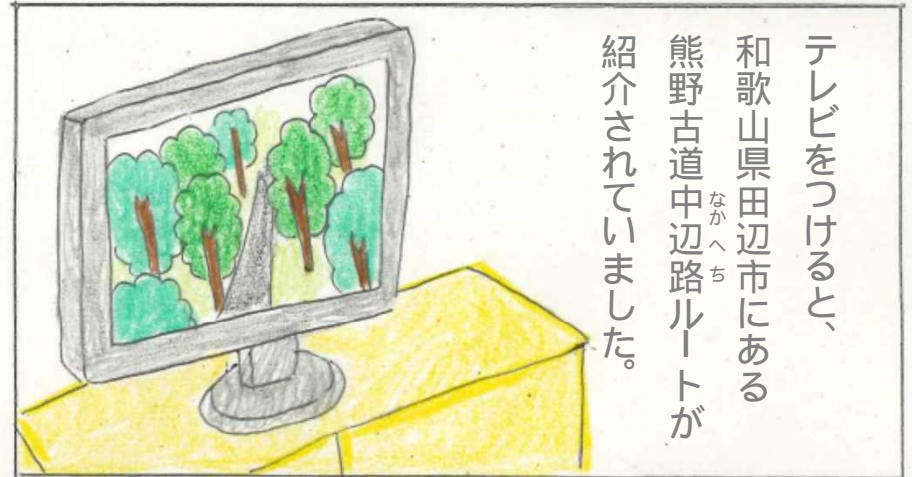
国土交通省国土政策局
総合計画課国土管理企画室

～ 主人公の紹介 ～

- ・ カンタのアツすぎる思いに共感し、そのあとを追いかけて始めたピュアな少女。
- ・ 知識はまだ少ないが、時折鋭い質問が飛び出すことも。

- ・ 日本の美しい国土を未来に残していきたいという思いを抱く、大志ある少年。
- ・ 全国各地の事例を自分で勉強していて詳しい。
- ・ マンガの登場人物と既に知り合いであることも。





おばあちゃんのためにあるようなメニューだね!

<選べる使い道>

- 蟻の熊野詣～世界遺産(熊野古道)関連事業～
- 地球にやさしいふるさと～環境保全事業～
- あがらのまち～ふるさとづくり事業～
- 元気かい!ふるさとの父、母、友よ～安心して心豊かに暮らせるまちづくり事業～

そしたら、大発見。熊野古道の保全に貢献できるメニューがあったのよ。

これまでも色んな使われ方をしてきたんだけど

もちろんチェックしてるわ。

田辺市はメニューごとの寄付状況や活用状況を積極的に情報発信していますよね。

周辺の森林を保全することが、実は熊野古道の保全につながるのよ。

平成29年から熊野古道周辺の森林を保全する事業に多くの寄付金が使われるようになったの。私はこの方針に大賛成ね。

どうしてわざわざ周辺の森林を保全する必要があるの?

でも、おばあちゃん山形県に住んでるし、こんな遠くの森林をどうやって支えているの?

おばあちゃん

田辺市

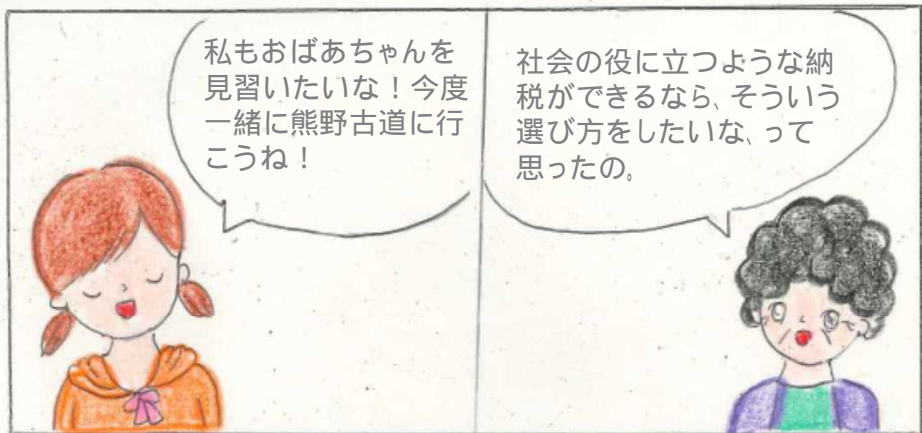
あらやだ、私よ。まあでも、たくさんの支え手のひとり、といったところね。

全然覚えてないや。

私は昔から熊野古道が好きでね。リコモ小さいときに一緒に旅行に行ったことがあるのよ。

ふるさと納税やってたんだ。知らなかったよ。

最近ふるさと納税をやるようになってね。田辺市のメニューを見てみたのよ。



私もおばあちゃんを見習いたいな！今度一緒に熊野古道に行こうね！

社会の役に立つような納税ができるなら、そういう選び方をしたいな、って思ったの。



今後、森林を管理できない所有者は増えていきそうね。

けれど、色んな理由で管理ができない所有者も多いみたいで

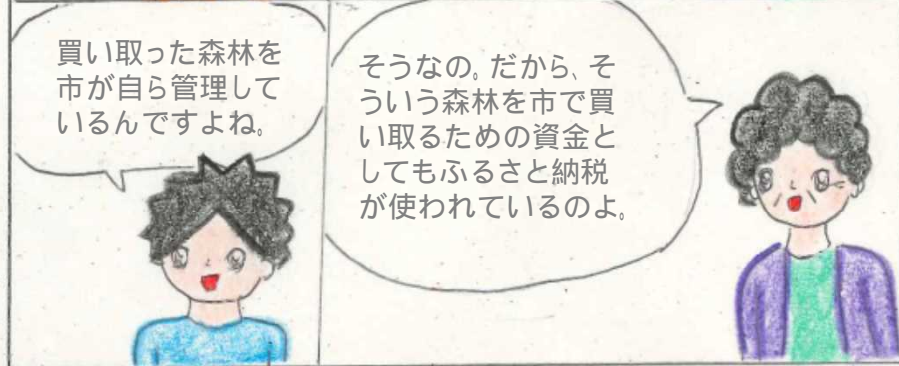
もう高齢で管理はできんわい。



さつきも喜んでるね、楽しみだわ！

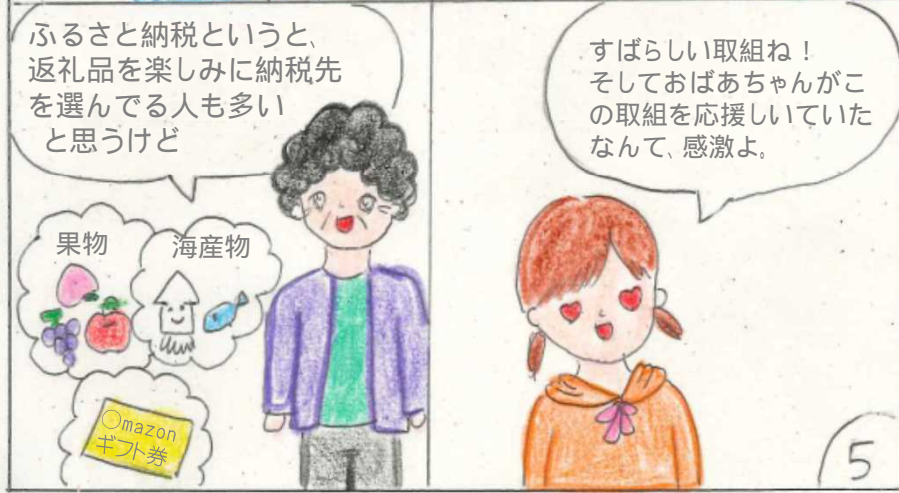
もちろんよ♪

わん！わん！



買い取った森林を市が自ら管理しているんですよ。

そうなの。だから、そういう森林を市で買い取るための資金としてもふるさと納税が使われているのよ。



ふるさと納税というと、返礼品を楽しみに納税先を選んでも多いと思うけど

素晴らしい取組ね！そしておばあちゃんがこの取組を応援していたなんて、感激よ。

取組事例に学ぶ課題と解決の方向性

土地の視点

土地所有者が、地域住民が必要とする水準の土地の管理に関する意欲や能力を有しない場合には、管理できない土地について、管理する能力を有する主体による管理を提案するのも一案です。

和歌山県田辺市では、手入れが必要な森林について、所有者に間伐補助金を出すなどして適正な手入れを促していますが、それでも十分な管理が見込めない森林については、市が購入し、公有化を図った上で自ら管理を行う取組を進めています。



土地の視点

対象区域の所有者や境界の状況を把握するため、市町村等の地方公共団体による地籍調査の推進も重要です。その際、地籍調査が完了した地域から優先的に実施するといった工夫も必要となります。

和歌山県田辺市は、森林全体ではなく世界遺産「熊野古道」沿道等の森林の保全をまず対象としつつ、その対象範囲の中でも地籍調査完了箇所を優先して公有化を進めています。



仕組みの視点

人口減少下の持続可能な国土管理のためには、国民一人ひとりが国土に関心を持ち、その管理の一端を担う国民の参加による国土管理（国土の国民的経営）を様々な形で進めていくことが一層重要になります。

和歌山県田辺市は、用途目的を世界遺産（熊野古道）関連事業に限定したふるさと納税メニューを創設（このほか4種類の用途目的を設定）し、森林購入の財源としても活用しています。さらに、ふるさと納税の用途ごとの寄附状況や活用状況をホームページにて積極的に情報公開することで、熊野古道に関心を持つ国民の方の関心が高まり、支援実績も上がっています。

